

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	観光戦略推進部次長兼課長	氏名	清水 克弥
評価者	組織	国際観光課	職	観光戦略推進部次長兼課長	氏名	飴谷 義博

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	外国人宿泊客数	人	500,000 (H27)	242,292 (H25)	293,956 (H26)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新ほっと石川観光プランの推進(海外誘客10倍増構想の推進)	外国人宿泊客数	人	500,000 (H27)	242,292 (H25)	293,956 (H26)	1:海外誘客企画費	外国人観光客	6,703	6,234	B	継続
							2:海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	57,940	64,940	A	拡大
							3:海外誘客受地整備事業費	外国人観光客	5,100	5,690	A	拡大

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客企画費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン	成 職・氏名	主任主事 平谷 純卓	者 電話番号	076 - 225 - 1128 内線 3966

1 事業の背景
 平成17年3月に策定した「新ほっと石川観光プラン」の海外誘客3倍増構想（平成26年までに15万人）は、平成19年に既に達成（161,902人）したことから、平成20年9月に海外誘客10倍増構想（新目標値50万人）に上方修正し、今後更なる誘客を目指す。

2 目 的
 本県ゆかりの人材を活用し、海外における情報収集や情報発信力を高め、より効果的な誘客を図る。

3 事業内容

(1) 海外誘客アドバイザー等の委嘱 （台湾、韓国、香港、中国）	2,300千円
(2) (新) 石川県観光親善大使フォローアップ事業	2,300千円
(3) 事務費等	2,103千円

4 交 付 先 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	石川県内外国人宿泊者数					単位	人
目標値	現状値						
	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	500,000	169,113	106,933	162,161	242,292	293,956	
事業費							
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算			2,200	17,514	6,703	
	決算			2,200	7,348	6,234	
一般財源	予算			2,200	17,514	6,703	
	決算			2,200	7,348	6,234	
事業費累計			0	2,200	9,548	15,782	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	現地旅行者等との連絡調整、旅行動向の情報収集や誘客に係る助言など本県誘客事業に不可欠である。また新たに実施した石川県観光親善大使フォローアップ事業により、各親善大使がそれぞれの活動の場でのPR力強化を図った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	海外からの誘客の拡大を図るためには、北陸新幹線を活用したさらなる誘客、さらには東京オリンピック開催決定による効果の本県に導くことが重要であり、今後とも引き続き、海外における情報収集や情報発信力を高め、中長期的な視点に立った取り組みを進めるとともに、県内観光事業者のインバウンドへの取り組みに向けたさらなる気運醸成を図る必要がある。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客情報発信事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン	成 職・氏名	主任主事 平谷 純卓	者 電話番号	076 - 225 - 1128 内線 3966

1 目 的
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動を実施する。また、北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートづくりへの取組を本格化する。

2 事業内容

(1) 小松・台北便のデイリー化対策と誘客需要の拡大

- ・(新) 関西圏、中部圏と連携した個人誘客の強化
- ・エバー航空との連携による団体商品造成支援
- ・(拡) スポーツ・レジャーツアー誘致強化
- ・福井県との連携による教育旅行誘致

(2) 新幹線開業を見据えた欧米豪からの誘客の強化

- ・(新) 北陸新幹線沿線自治体と連携した個人誘客の強化
- ・現地旅行社の商品造成、販売支援
- ・ルクセンブルク等からの誘客促進

(3) 新規路線チャーター便就航が期待できる香港からの誘客

- ・(新) 現地観光PRイベント開催による認知度向上
- ・(新) 関西圏と連携した個人誘客の強化
- ・メディアの招へいによる個人誘客の強化

(4) チャーター便就航が期待できる東南アジアからの誘客強化

- ・(新) 北陸新幹線沿線自治体と連携した情報発信
- ・民間企業と連携した広告宣伝
- ・タイメディア招へい
- ・(新) タイ現地観光PRイベント開催による認知度向上

(5) ターゲットを絞った韓国からの誘客

- ・(新) 中部圏と連携した個人誘客の強化
- ・大韓航空との連携
- ・スポーツ・レジャーの誘致強化
- ・教育旅行の誘致
- ・国際旅行博への出展

(6) 将来的に誘客拡大が期待できる中国からの誘客

- ・(新) 広州旅行博への出展(富山県連携)
- ・(新) 中部圏と連携した個人誘客の強化
- ・教育旅行関係者の招へい
- ・小松便利用送客助成
- ・旅行商品に対する広告助成

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	石川県内外国人宿泊者数					単位	人
目標値	現状値						
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
500,000	169,113	106,933	162,161	242,292	293,956		
事業費							
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
事業費	予算		65,540	52,940	57,940		
	決算		65,540	56,540	64,940		
一般財源	予算		65,540	52,940	57,940		
	決算		65,540	56,540	64,940		
事業費累計		0	65,540	122,080	187,020		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	台湾便のデイリー化対策や、今後さらなる誘客の拡大が期待できる欧米豪や香港、東南アジアを重点にそれぞれの国・地域の特性に応じた効果的な取り組みを行ってきた。その結果、台湾は前年度比12%増の113,347人、欧米豪は前年度比22%増の51,852人、香港は前年比10%増の20,676人、東南アジアは前年度比33%増の20,269人となり、いずれも過去最多の宿泊者数を記録した。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	人口減少時代を迎え、国内観光のパイが限られている中、交流人口の拡大を図るには、年々拡大する海外からの観光客の誘客に目を向けていくことが重要であり、今後とも引き続き、国や近県、県内市町及び民間事業者との連携を深めながら、東アジアをはじめ、東南アジアや欧米等、重点市場からの誘客に積極的に努める必要がある。引き続き小松定期便が就航する東アジアから誘客に取り組むほか、国内大手旅行社との連携が深まるなど、誘客環境が整いつつある欧米豪や、訪日ビザが免除され今後の誘客拡大が大いに期待できる東南アジアからの誘客に積極的に取り組む。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン	成 職・氏名	主任主事 平谷 純卓	者 電話番号	076 - 225 - 1128 内線 3966

1 目 的
 外国人観光客が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光案内ガイドの人材育成を図るとともに、多言語による情報発信ツール（ホームページ、パンフレット、地図等）を整備するなど、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。また、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたり、県内事業者に対して受け入れに関する意識啓発を図る。

2 事業内容
 (1) 外国人向け観光案内人材研修
 (2) 外国語パンフレット等の作成
 (3) 石川県インバウンド研究会の開催
 (4) 飲食店・商店街等向けの出張セミナーの開催
 (5) 外国人旅行者向け情報紙の作成及びホームページへの掲載

3 事業費 5,100千円

4 交付先 公益社団法人石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	石川県内外国人宿泊者数					単位	人
目標値	現状値						
平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
500,000	169,113	106,933	162,161	242,292	293,956		
事業費							
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
事業費	予算		2,000	6,220	5,100		
	決算		2,000	6,220	5,690		
一般財源	予算		2,000	6,220	5,100		
	決算		2,000	6,220	5,690		
事業費累計		0	2,000	8,220	13,910		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	通訳案内士・通訳ボランティアを対象とした研修会及びモニターツアーの開催により、案内人材のスキル向上に資することができた。とりわけ、研修を受講してきた通訳案内士の中には、旅行会社からの依頼でガイドを請け負うものも複数見られるようになった。 また、飲食店・商店街等を対象した出張セミナーでは300名を超える事業者が参加した。 加えて外国人旅行者向けに免税店や両替に関する情報、二次交通の利用方法等を紹介した情報誌を作成し、外国人の利便性の向上を図った。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	年々増加する外国人観光客に快適に県内での観光を楽しんでもらえるよう、多様化する外国人のニーズを把握し、引き続き様々な課題に対応すべく、外国人観光客の受入体制の整備を図る必要がある。 特に北陸新幹線金沢開業により、個人旅行者の増加が見込まれることから、県内事業者に対する意識啓発や、快適な観光のための情報発信等、受入体制の充実に取り組む。					